

# Splice Data Explorer 2

## 取扱説明書

第7版

**FURUKAWA**  
**ELECTRIC**

# 目次

1.	はじめに	2
1.1	動作環境	2
1.2	インストール方法	3
2.	機能	5
2.1	リモート制御	5
2.1.1	光ファイバ融着接続機の接続	5
2.1.2	融着機コントロールボタン	6
2.1.3	キャプチャ操作・画面拡大	6
2.2	融着プログラム編集	8
2.2.1	融着プログラム一覧	9
2.2.2	パラメータ編集	9
2.2.3	全データファイルに保存	10
2.2.4	ファイルに保存	10
2.3	加熱プログラム編集	11
2.3.1	加熱プログラム一覧	11
2.3.2	パラメータ編集	12
2.3.1	全データファイルに保存	13
2.3.2	ファイルに保存	13
2.4	融着履歴	14
2.4.1	履歴一覧	14
2.4.2	融着履歴データ	14
2.4.3	選択保存	14
2.4.4	一括保存	15
2.4.5	1件保存	15
2.4.6	印刷機能	15
2.5	放電検査履歴	16
2.5.1	履歴一覧	16
2.5.2	検査履歴データ	16
2.5.3	一括保存	17
2.5.4	1件保存	17
2.5.5	印刷機能	17
2.6	保存画像	18
2.6.1	画像一覧	18
2.6.2	ファイルに保存	18
2.7	異常履歴	19
2.7.1	履歴一覧	19
2.7.2	異常履歴データ	19
2.7.3	一括保存	20
2.7.4	1件保存	20
2.7.5	印刷機能	20
2.8	ソフトウェア更新	21
2.8.1	更新方法	21
2.9	遠隔制御機能	22
2.9.1	接続方法	22
2.9.2	チャット	23

# 1. はじめに

本取扱説明書は、古河電気工業製光ファイバ融着接続機 S179 シリーズ、S185 シリーズ、S124 シリーズを PC 上から制御するアプリケーション Splice Data Explorer2 の取扱について記載したものです。

本アプリケーションでは S178/S153/S123/NJ001 シリーズの接続および制御は行うことができません。S178/153/S123/NJ001 シリーズをご使用の場合は、以前のバージョンである Splice Data Explorer をご使用下さい。

## 1.1 動作環境

---

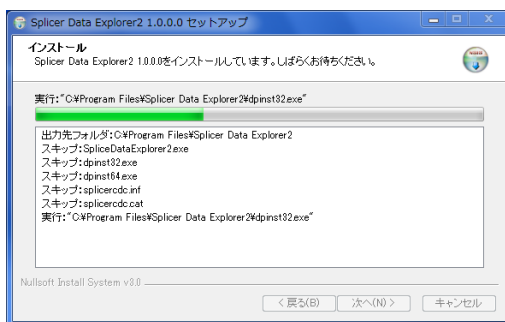
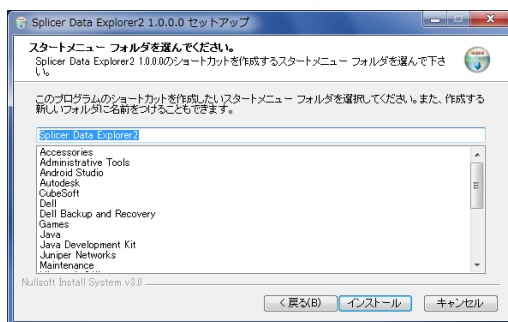
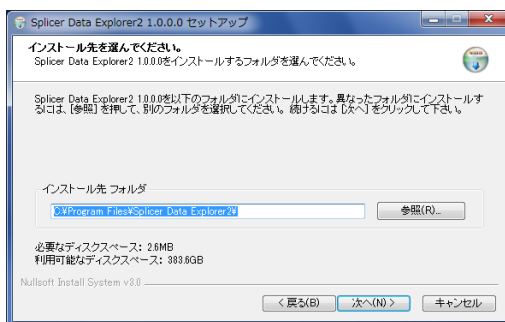
本アプリケーションは、下記の環境にて動作致します。

OS	Microsoft Windows 10 (32/64bit)
.Net Framework	Version 3.5 SP1
画面解像度	1024 x 768 以上
USB	2.0 / 3.0 ポート

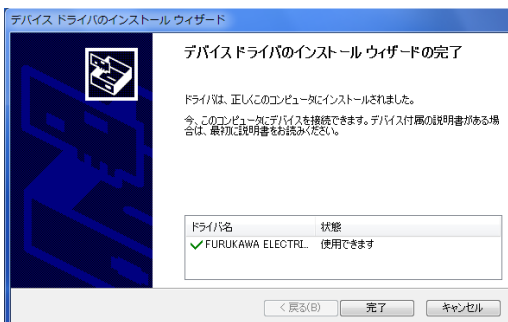
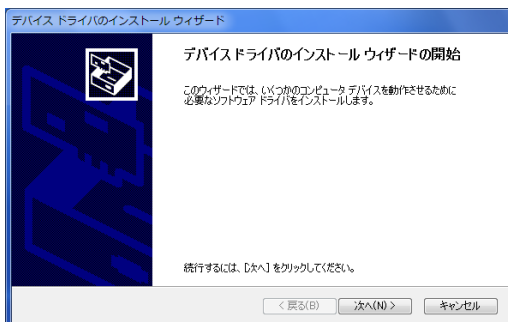
本アプリケーションが起動できない場合は、.Net Framework 3.5 をインストールして下さい。

## 1.2 インストール方法

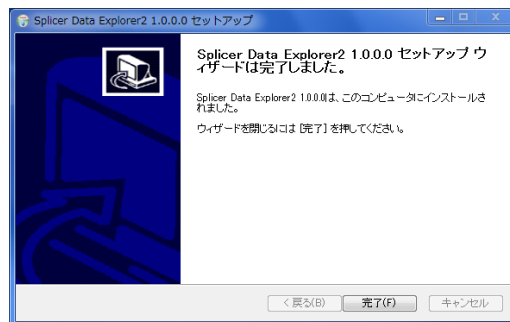
1. SDE2 インストーラファイル SDE2Installer.exe を実行して下さい
2. セットアップ開始されたら [次へ(N)>]→[次へ(N)>]→[インストール] を選択して下さい。



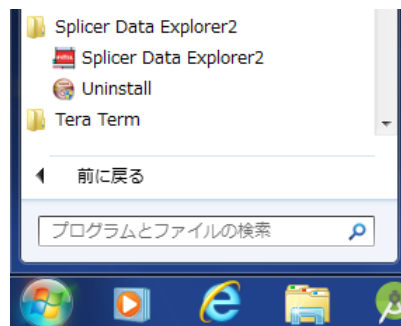
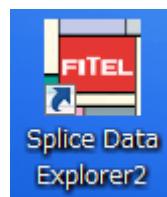
3. 続いてデバイスドライバのインストールが開始されますので[次へ(N)>]→[完了] を選択して下さい。バージョンアップ等、既にドライバがインストールされている場合は、[キャンセル]を選択しても構いません。



4. インストールが完了したら、[完了]を選択して、インストールを完了して下さい。



5. アプリケーションを起動するには、デスクトップ上のアイコンまたはスタートメニューからプログラムを選択して下さい。



6. ドライバを初めてインストールした場合は、光ファイバ融着接続機を接続した時にドライバのインストールが自動的に行われます。

## 2. 機能

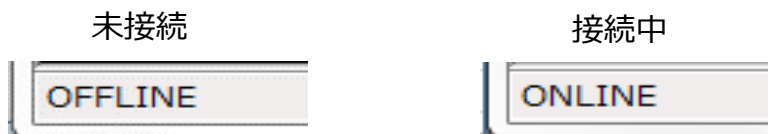
### 2.1 リモート制御

リモート制御メニューでは、本アプリケーションから光ファイバ融着接続機を制御および LCD 画面の表示を行うことができます。



#### 2.1.1 光ファイバ融着接続機の接続

光ファイバ融着機を USB ケーブルで接続し、光ファイバ融着接続機の電源を ON にすると画面左下の[OFFLINE]と表示が[ONLINE]と変わり、モニタ画面が表示されます。(USB ケーブルが接続していない場合、Wi-Fi 接続が可能となる)



未接続の場合、他のメニューボタンを押しても画面は切り替わりません。下記の接続エラーが表示された場合は、光ファイバ融着機を別の USB ポートに接続して下さい。



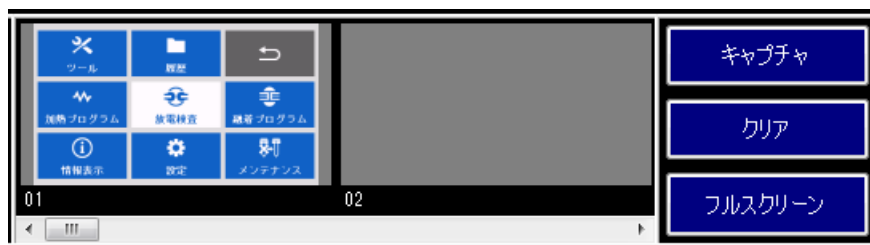
## 2.1.2 融着機コントロールボタン

このボタンをクリックすることで、光ファイバ融着接続機のキーを押した時と同じ操作を行うことができます。

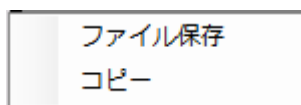


## 2.1.3 キャプチャ操作・画面拡大

[キャプチャ]ボタンを押すと、現在表示中の画面が内部に記憶されます。記憶される画面数は最大20画面で、それ以上になった場合は1画面目に戻って上書きされます。



キャプチャした画面上で右クリックすると、ファイル保存およびクリップボードへのコピーを行うことができます。ファイル保存の場合、ファイル保存ダイアログが表示され、画像形式をPNG/BMP/GIF/JPEGから選択することができます。



また、キャプチャした画像を Microsoft Excel や PowerPoint にドラッグ&ドロップで直接貼り付けることも可能です。

[クリア]ボタンを押すと、キャプチャした画像が全て削除されます。



[フルスクリーン]ボタンを押すと画像画面部分が大きく表示されます。フルスクリーン表示中は、コントロールボタンは使用できないため、光ファイバ融着接続機のキーを使用して下さい。[Back]ボタンで元の表示に戻ります。





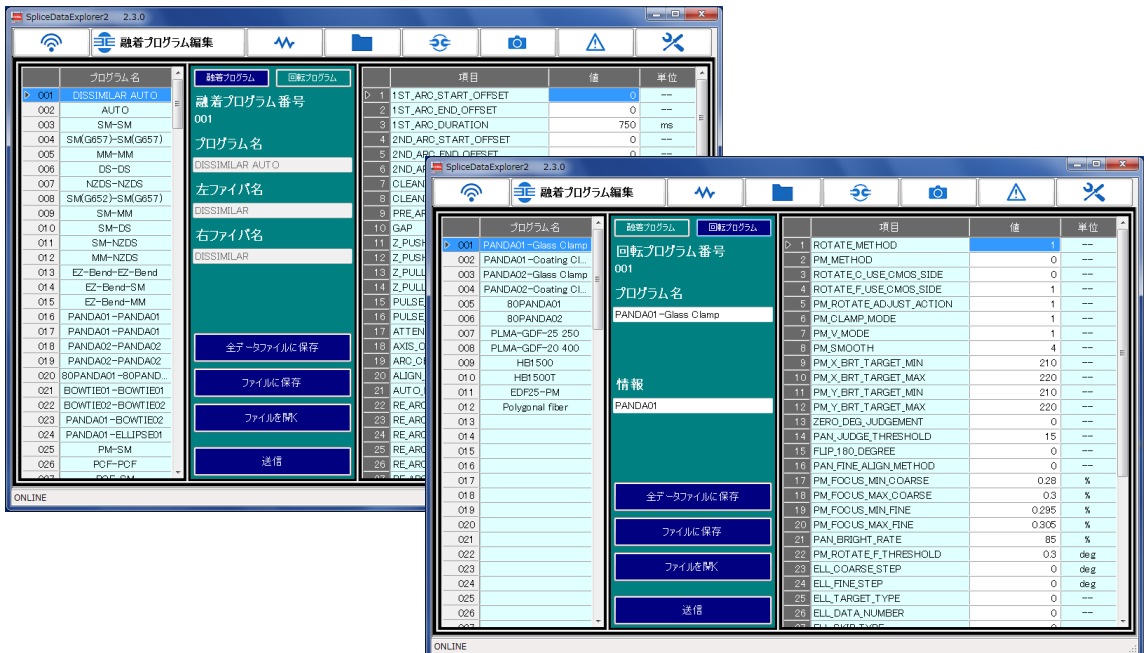
## 2.2 融着プログラム編集

融着プログラムの一覧が表示され、パラメータの編集を行うことができます。



※S185PM/PMLDF の場合のみ、融着編集プログラム編集画面に回転プログラム選択ボタンが追加されます（操作方法は融着プログラムと同じ）

### 融着プログラム



### 回転プログラム

## 2.2.1 融着プログラム一覧

画面の左側に接続した光ファイバ融着接続機に登録されている融着プログラムの一覧が表示されます。融着プログラム名をクリックすると、画面の右側にそのパラメータが表示され、編集を行うことができます。

パラメータの変更を1つでも行くと、融着プログラム一覧のプログラム名の色が変わり、編集した部分が分かりやすくなっています。

通常		変更有り	
	プログラム名		プログラム名
050	SM-SM2	050	SM-SM2
051	SM-SM3	051	SM-SM3

## 2.2.2 パラメータ編集

プログラム名・左ファイバ名・右ファイバ名および各パラメータの変更が可能です。パラメータの変更を行った場合はその部分の色が変更され、無効な値を入力した場合はメッセージを表示し値はそのままです。プロテクトが掛かっている場合（FUSION\_PROTECT：1）は変更不可です。

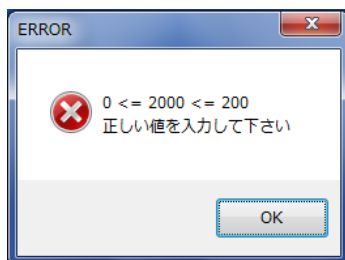
### 通常

	項目	値	単位
1	1ST_ARC_START_POWER	100	--
2	1ST_ARC_END_POWER	100	--

### 変更有り

	項目	値	単位
1	1ST_ARC_START_POWER	101	--
2	1ST_ARC_END_POWER	100	--

## 無効な値入力時



	項目	値	単位
1	1ST_ARC_START_POWER	100	--
2	1ST_ARC_END_POWER	100	--

変更後、[送信]ボタンを押すことで光ファイバ融着機に反映されます。送信せずに他のメニューに移った場合、変更した値は破棄されます。

### 2.2.3 全データファイルに保存

光ファイバ融着機に保存されている全ての融着プログラムを PC に保存することができます。このファイル形式は、光ファイバ融着機でエクスポート・インポートした場合と異なるため、相互に利用できません。本アプリケーションでのみ光ファイバ融着機に送信することができます。

送信する場合は、[ファイルを開く]ボタンを押し、送信するファイルを選択し、[送信]ボタンによって融着プログラムを送信してください。

コピー先の融着プログラムは全てコピー元の融着プログラムと同じになります。コピー先にしかない融着プログラムは消えてしまうためご注意ください。

### 2.2.4 ファイルに保存

現在表示中の融着プログラムを PC に保存することができます。このファイル形式は、光ファイバ融着機でエクスポート・インポートした場合と同じであるため、相互に利用可能です。

送信する場合は、「ファイルを開く」で送信する融着プログラムを選択し、[送信]ボタンによって融着プログラムを送信してください。

## 2.3 加熱プログラム編集

加熱プログラムの一覧が表示され、パラメータの編集を行うことができます。



### 2.3.1 加熱プログラム一覧

画面の左側に接続した光ファイバ融着接続機に登録されている加熱プログラムの一覧が表示されます。加熱プログラム名をクリックすると、画面の右側にそのパラメータが表示され、編集を行うことができます。

パラメータの変更を1つでも行くと、融着プログラム一覧のプログラム名の色が変わり、編集した部分が分かりやすくなっています。

	通常	変更有り												
	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>プログラム名</th></tr></thead><tbody><tr><td>001</td><td>S921</td></tr><tr><td>002</td><td>S922</td></tr></tbody></table>		プログラム名	001	S921	002	S922	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>プログラム名</th></tr></thead><tbody><tr><td>001</td><td>S921</td></tr><tr><td>002</td><td>S922</td></tr></tbody></table>		プログラム名	001	S921	002	S922
	プログラム名													
001	S921													
002	S922													
	プログラム名													
001	S921													
002	S922													

## 2.3.2 パラメータ編集

プログラム名・情報および各パラメータの変更が可能です。パラメータの変更を行った場合はその部分の色が変更され、無効な値を入力した場合はメッセージを表示し値はそのままです。プロテクトが掛かっている場合（HEAT\_PROTECT：1）は変更不可です。

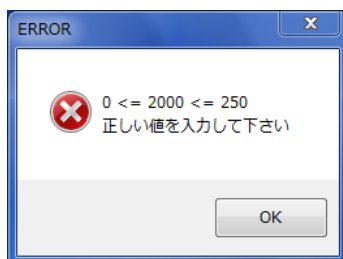
### 通常

	項目	値	単位
1	1ST_HEAT_TEMP_IN	270	degC
2	1ST_HEAT_TEMP_OUT	260	degC

### 変更有り

	項目	値	単位
1	1ST_HEAT_TEMP_IN	271	degC
2	1ST_HEAT_TEMP_OUT	260	degC

### 無効な値入力時



	項目	値	単位
1	1ST_HEAT_TEMP_IN	270	degC
2	1ST_HEAT_TEMP_OUT	260	degC

変更後、[送信]ボタンを押すことで光ファイバ融着機に反映されます。送信せずに他のメニューに移った場合、変更した値は破棄されます。

### 2.3.1 全データファイルに保存

光ファイバ融着機に保存されている全ての加熱プログラムを PC に保存することができます。このファイル形式は、光ファイバ融着機でエクスポート・インポートした場合と異なるため、相互に利用できません。本アプリケーションでのみ光ファイバ融着機に送信することができます。

送信する場合は、[ファイルを開く]ボタンを押し、送信するファイルを選択し、[送信]ボタンによって加熱プログラムを送信してください。

コピー先の加熱プログラムは全てコピー元の加熱プログラムと同じになります。コピー先にしかない加熱プログラムは消えてしまうためご注意ください。

### 2.3.2 ファイルに保存

現在表示中の加熱プログラムをファイルに保存、および保存したファイルを読み込むことができます。このファイル形式は、光ファイバ融着機でエクスポート・インポートした場合と同じであるため、相互に利用可能です。

送信する場合は、「ファイルを開く」で送信する加熱プログラムを選択し、[送信]ボタンによって加熱プログラムを送信してください。

## 2.4 融着履歴

光ファイバ融着接続機に保存されている融着履歴データの表示・保存・印刷を行うことができます。



### 2.4.1 履歴一覧

画面の左側に融着履歴の一覧が表示されます。融着日時と推定損失が表示され、表示する履歴をクリックすることで画面の右側に詳細なデータが表示されます。

### 2.4.2 融着履歴データ

画面右上には、融着後のファイバ像が表示されます。画面右下には、融着時の各種データが表示されます。

### 2.4.3 選択保存

融着履歴データの指定したデータを CSV 形式、画像を PNG 形式で保存されます。チェックボックスで指定を行った後、[一括保存]ボタンをクリックして下さい。





## 2.5 放電検査履歴

光ファイバ融着接続機に保存されている放電検査履歴データの表示・保存・印刷を行うことができます。



### 2.5.1 履歴一覧

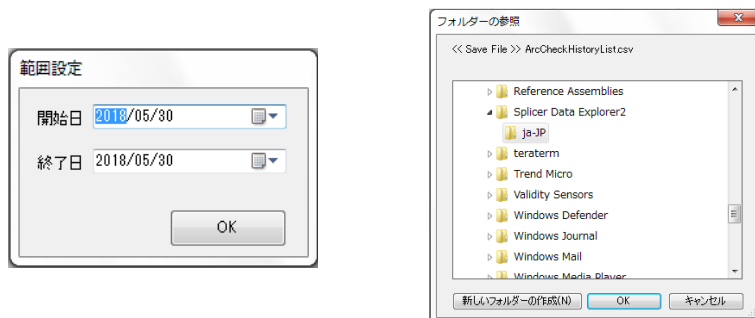
画面の左側に放電検査履歴の一覧が表示されます。表示したい検査日時をクリックすることで画面の右側に詳細なデータが表示されます。

### 2.5.2 検査履歴データ

画面右上には、放電検査前と放電検査後のファイバ像が表示されます。画面右下には、放電検査時の各種データが表示されます。

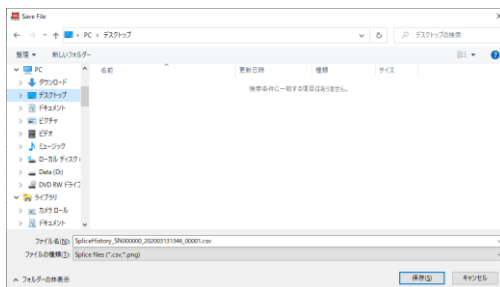
## 2.5.3 一括保存

放電検査履歴データの指定した範囲を CSV 形式で出力します。範囲は日付で設定し、開始日と終了日の間に検査されたデータを抽出します。画像データは含まれません。



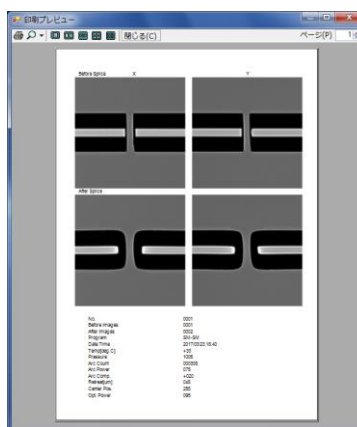
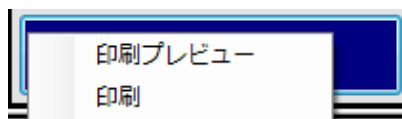
## 2.5.4 1件保存

現在選択されている放電検査履歴 1 件を、パラメータを CSV 形式、画像を PNG 形式、または Excel 形式で保存することができます。



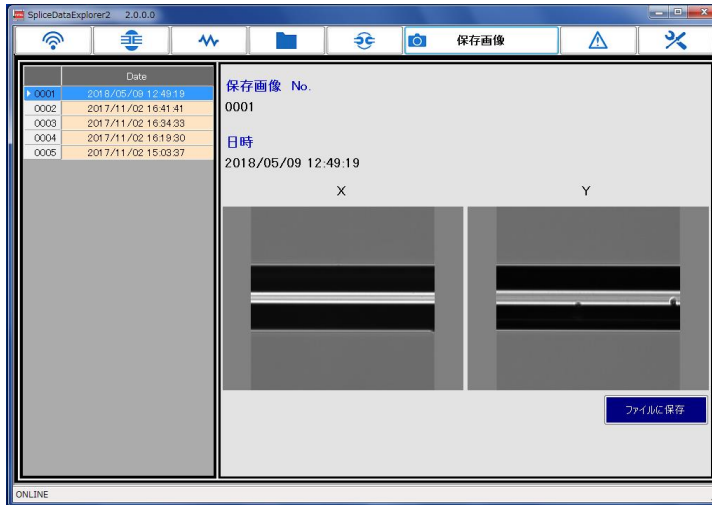
## 2.5.5 印刷機能

印刷ボタンを押すと、印刷プレビューと印刷の選択メニュー表示が表示され、印刷とプレビューを行うことができます。



## 2.6 保存画像

光ファイバ融着接続機に保存されているキャプチャ画像の表示・保存を行うことができます。

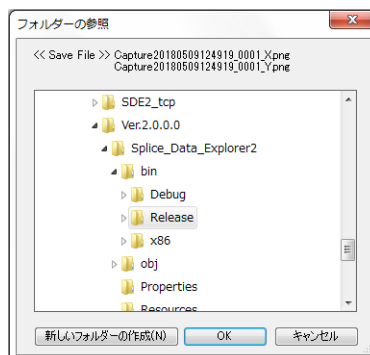


### 2.6.1 画像一覧

画面の左側に保存画像の一覧が表示されます。保存日時が表示され、表示したい保存日時をクリックすることで画面の右側に画像が表示されます。

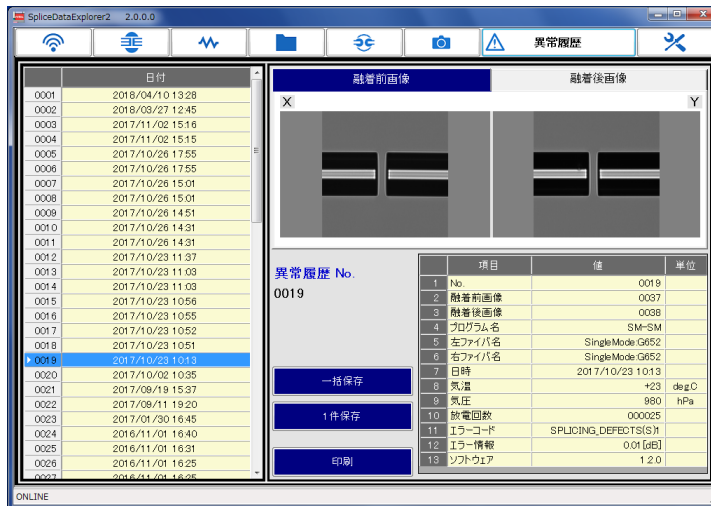
### 2.6.2 ファイルに保存

現在選択されている保存画像を PNG 形式で保存することができます。



## 2.7 異常履歴

光ファイバ融着接続機に保存されている異常履歴データの表示・保存・印刷を行うことができます。



### 2.7.1 履歴一覧

画面の左側に異常履歴の一覧が表示されます。表示したい履歴日時をクリックすることで画面の右側に詳細なデータが表示されます。

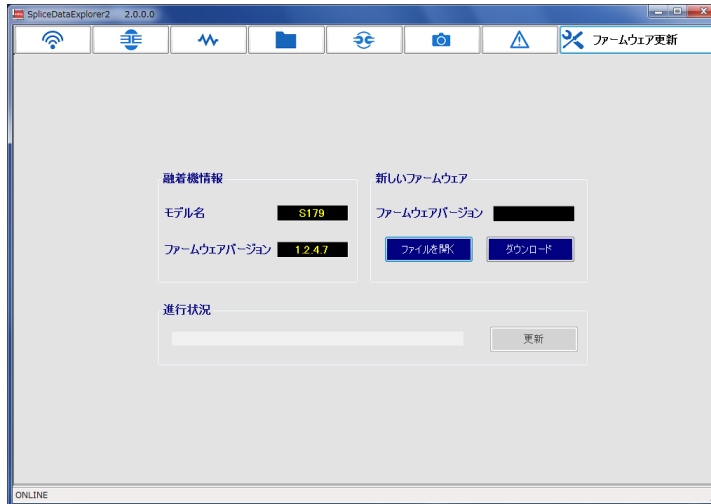
### 2.7.2 異常履歴データ

画面右上には、融着前と融着後のファイバ像が表示されます。画面右下には、異常発生時の各種データが表示されます。



## 2.8 ソフトウェア更新

光ファイバ融着接続機のソフトウェアを、インターネットまたは指定したファイルから更新することができます。



### 2.8.1 更新方法

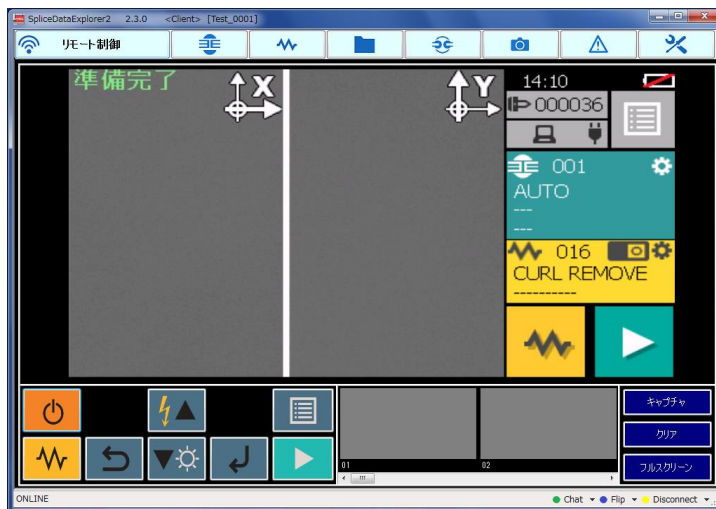
インターネットから更新する場合は[ダウンロード]ボタンを、ファイルから更新する場合は[ファイルを開く]ボタンを押して下さい。

最新のソフトウェアが見つかった場合[更新]ボタンが有効になるので、[更新]ボタンを押して、更新を開始して下さい。

更新が完了すると、光ファイバ融着接続機が自動的に再起動され、新しいソフトウェアが適用されます(再起動しない場合は、手動で電源を入れて下さい)。

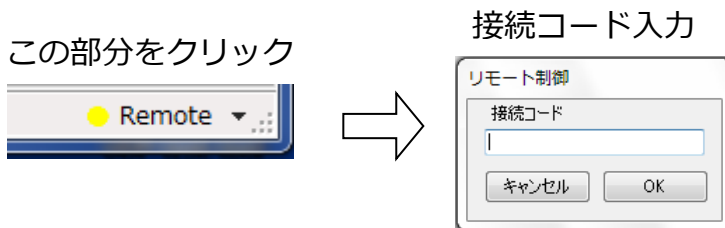
## 2.9 遠隔制御機能

本アプリケーションを使用して光ファイバ融着接続機を遠隔で保守することができます。

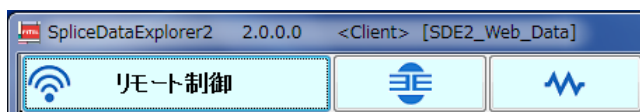


### 2.9.1 接続方法

光ファイバ融着接続機を接続した状態で、画面右下の[○Remote]を押して下さい。接続コード入力ダイアログが表示されますので、事前に連絡しました接続コードを入力して下さい。メニューが水色に変わったら遠隔制御が可能な状態になったことを表します。



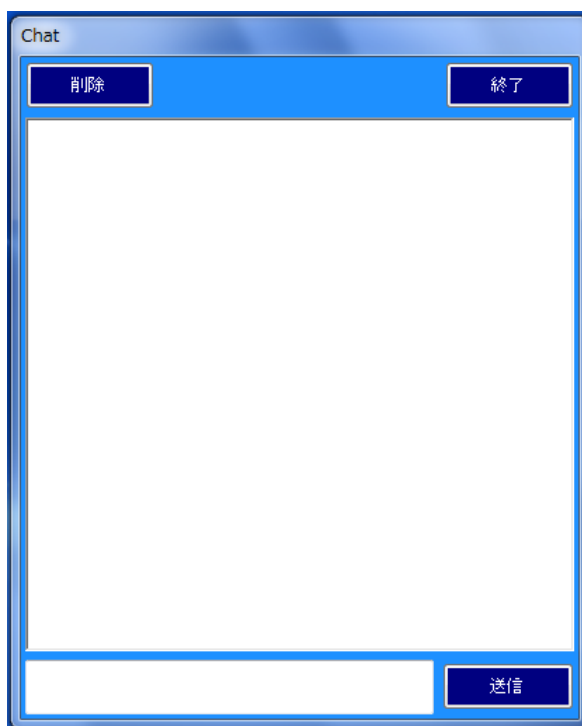
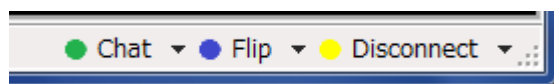
遠隔制御可能状態



## 2.9.2 チャット

遠隔制御状態に入ると、画面右下の[○Chat]ボタンが表示されます。[○Chat]を押すと、チャット画面が表示されチャット可能となります（相手が接続していない場合、チャット画面は表示されません）。文章を入力後、[送信]ボタンを押すか[Enter]キーを押す事で相手側にメッセージが送信され、画面の右側に自分のメッセージ、画面の左側に相手からのメッセージが表示されます。[終了]ボタンを押すとチャット画面が消え、相手のチャット画面も同時に消えます。

この部分をクリック





販売およびサービスの詳細については  
古河電気工業株式会社またはお近くの代理店にご連絡下さい

**FURUKAWA  
ELECTRIC**

**技術的なお問い合わせは**

〒290-8555 千葉県市原市八幡海岸通 6 番地  
古河電気工業株式会社 ファイテル製品事業部門  
光接続機器部 営業技術課  
TEL : 0436-55-8178 FAX : 0436-55-8174

**修理・メンテナンスは**

〒290-8555 千葉県市原市八幡海岸通 6 番地  
古河電気工業株式会社 ファイテル製品事業部門  
品質保証部 カスタマーサポートセンター  
TEL : 0436-55-8175 FAX : 0436-55-8177